



# 横浜みどりアップ計画 (新規・拡充) 施策

-平成21～24年度の実績(概要)-

緑は一度失われると回復が困難ですが、これまでの急激な都市化の進展により大きく失われてきており、緑の保全は緊急に取り組まなければならない課題です。

そこで、横浜市では、緑の減少に歯止めをかけ、「緑豊かなまち横浜」を次世代に継承するために、従来進めている横浜みどりアップ計画の施策に加え、新規・拡充施策を策定し、「横浜みどり税」を費用の一部に活用して、平成21年度から25年度までの5か年計画で事業や取組を進めています。

## 平成21年度～24年度の主な実績をご報告 みどりアップ計画は3本の柱で進めています



### 樹林地を守る

樹林地の所有者のご協力を頂き、417.5ha(うち24年度は107.6ha)の樹林地の保全制度による指定が新たに進むとともに、樹林地の特性に応じた保全管理計画の策定や維持管理に関する助成が進みました。

「樹林地を守る」事業の4年間累計事業費315.7億円(うちみどり税48億円)



### 農地を守る

水田約114.4ha(うち24年度は約4.8ha)を保全することで、良好な農景観や都市環境の保全が進みました。また、49.1ha(うち24年度は16.4ha)の農地の長期貸付を開始し、遊休農地の耕作により営農環境が向上しました。

「農地を守る」事業の4年間累計事業費31億円(うちみどり税8.3億円)



### 緑をつくる

地域で緑のまちづくりに取り組んでいる地区が15地区(うち24年度は3地区)となり、地域でのまちづくりが新たな段階に入りました。また、保育園や小中学校などの身近な施設、延べ123箇所(うち24年度は25箇所)で園庭・校庭を芝生化しました。

「緑をつくる」事業の4年間累計事業費29.9億円(うちみどり税14.7億円)



※このリーフレットの事業費等は、平成21～23年度は決算額、平成24・25年度は予算額

みどりアップ計画は3本の柱で進めています。



## 樹林地を守る

主な事業  
の実績

- 樹林地の指定 ▶ 417.5ha (107.6ha) (特別緑地保全地区、市民の森、緑地保存地区など) ※417.5haは、横浜公園約65個分の面積
- 指定した樹林地の一部を買取 ▶ 105.9ha (45.1ha)
- 樹林地維持管理助成 ▶ 267件 (91件助成)
- 保安全管理計画を策定した市民の森等 ▶ 14箇所 (5箇所)
- 森への関心を高める講座 ▶ 231回実施 (82回実施：参加者6,815人)

※( )内は平成24年度に取り組んだ実績を示します。



### 特別緑地保全地区指定等拡充事業



川和特別緑地保全地区(都筑区)

特別緑地保全地区等に指定し、樹林地の保全を推進



### 森づくりリーダー等育成事業



新治市民の森(緑区)

森づくりボランティア養成講座を実施



### 健康の森事業



深谷市民の森(戸塚区)

樹林地保全への関心と理解を深めながら、健康増進を図る健康ツアーなどを各種団体と連携し実施



### 森の中のプレイパーク事業



環境活動支援センター(保土ヶ谷区)

子どもたちが木とふれあい、遊びを通して森林環境を考える心を育てることの出来るプレイパークを実施



### 森の恵み塾事業



横浜自然観察の森(栄区)

樹林地の特性をいかした内容の森林教室「森の恵み塾」を開催



### 間伐材活用クラフト作成事業



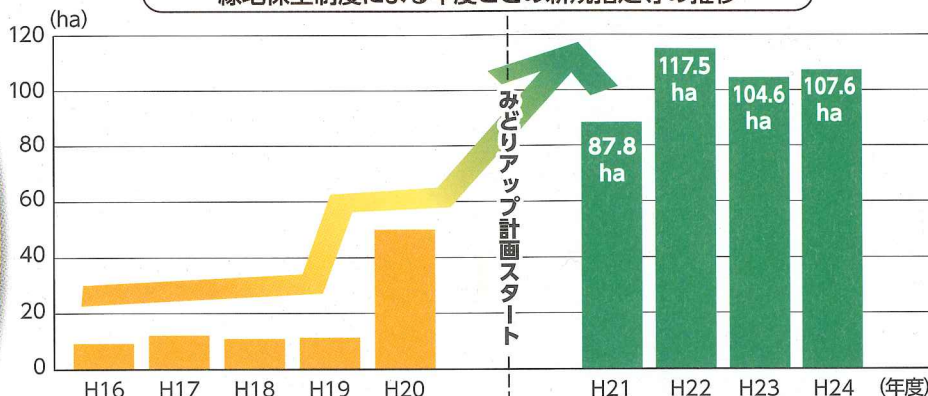
児童遊園地内の間伐材を利用して作成した竹琴(保土ヶ谷区)

間伐材を活用したクラフト作成ワークショップ等を開催

特別緑地保全地区指定等  
拡充事業の取組

樹林地の保全が  
進んでいます

緑地保全制度による年度ごとの新規指定等の推移



みどりアップ計画前 指定量 約20ha/年  
5年間の平均 (H16～20年度)

みどりアップ計画後 指定量 約100ha/年  
4年間の平均 (H21～24年度)

5倍以上の  
スピード

# 事業実績の概要



## 農地を守る

主な事業  
の実績

- 水田の保全 ▶ 約114.4ha (約4.8ha)
- 長期貸付を開始した農地 ▶ 49.1ha (16.4ha)
- 収穫体験農園整備に対する助成 ▶ 15.7ha・95箇所 (5.3ha・32箇所)

※( )内は平成24年度に取り組んだ実績を示します。



### 水田保全契約奨励事業



保全対象の水田の様子(港南区)

貯水機能や景観形成など多面的な機能のある水田を保全



### 農地貸付促進事業



長期貸付された農地(泉区)

市が仲介する農地貸借の期間を長期化し、安定した経営ができるよう支援



### 集团的農地の維持管理奨励事業



上瀬谷、集团的農地の様子(瀬谷区)

まとまりのある農地を保全し、良好な農景観を維持する団体に対し支援



### 共同直売所の設置支援事業



マルカート神奈川農産物直売所(神奈川区)

市民が身近で地場農産物を購入できるように、共同直売所の整備に対し支援



### 収穫体験農園の開設支援事業



整備支援されたイチゴ園(泉区)

果物のもぎ取りや野菜の収穫等、市民が地産地消を体験できる収穫体験農園の整備に対し支援



### 農園付公園整備事業



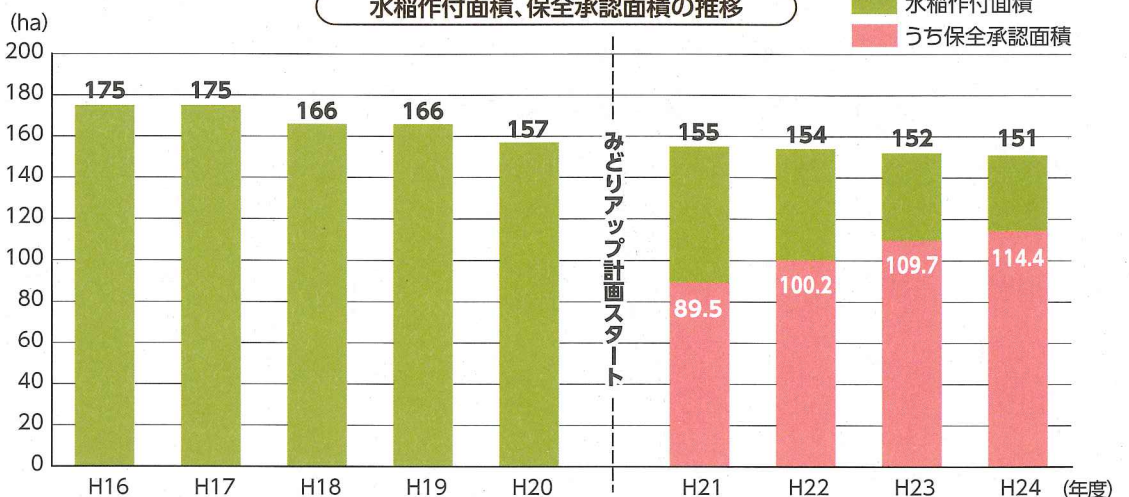
南本宿第三公園(旭区)

継続耕作の困難な農地等を、農的な施設を主とした都市公園として整備

水田保全契約奨励事業

水田の保全が進んでいます

水稲作付面積、保全承認面積の推移





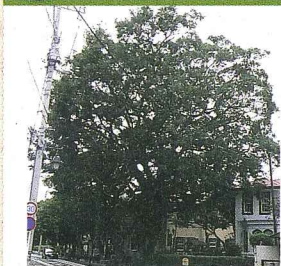
# 緑をつくる

## 主な事業 の実績

- 地域で緑のまちづくりに取り組んでいる地区  
▶ 15地区(3地区)
- 園庭・校庭の芝生化  
▶ 延べ123箇所(25箇所)
- 屋上・壁面緑化への助成 ▶ 52件(12件)

※( )内は平成24年度に取り組んだ実績を示します。

## 名木古木保存事業



指定された山手町の樹木(中区)

樹齢が概ね100年を超える樹木や  
故事・来歴等のある樹木を指定し、  
樹木の診断・治療・管理を助成

## 人生記念樹等生産配布事業



記念樹等生産配布事業の様子(鶴見区)

人生の節目の記念日等に希望され  
た市民に苗木を無料で配布

## 地域緑のまちづくり事業



平楽地区(南区)

地域の方々为主体となり、地域に  
ふさわしい緑化を計画し実施

## 保育園・幼稚園芝生化助成事業



芝生化された園庭の様子(磯子区)

民間の保育園・幼稚園の園庭芝生  
化に助成

## 屋上緑化助成事業



民間ビルの屋上緑化(港北区)

市街化区域の建築物の屋上または  
壁面の緑化に助成

## 生垣設置事業



新たに設置された生垣(青葉区)

ブロック塀の撤去に伴う生垣の設  
置に助成

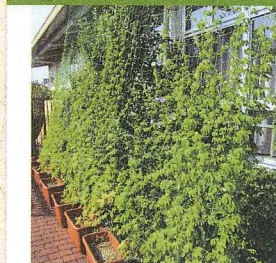
## 建築物緑化保全契約の締結



緑化保全契約を締結した個火宅(金沢区)

基準以上の緑化をしている500㎡  
以上の建築物敷地について、緑化  
率に応じて固定資産税等を減免

## 公共施設緑化事業



平沼集会所(西区)

区役所、地区センター等の市民利  
用施設、道路などの緑化を推進

※写真は主に平成24年度の取組です。

平成25年3月末時点で、**1万800件**の登録を頂いています。

一人ひとりの取組を大きなみどりアップにつなげるため、  
「みどりアップ」しています! 宣言に登録しませんか?

「自然に触れるイベントに参加」「横浜産農産物を積極的に購入」「身近な所で緑や花を育てる」  
など一人ひとりの取組をメッセージや写真とともに登録してください。

**ご登録  
いただく** 代表的なメッセージ・イニシャルなどをホームページで紹介、メール  
マガジンの受信や抽選でプレゼントがあたるなど特典があります。

**登録期間** 平成22年10月から平成26年3月末まで

★パソコンから登録の方



みどりアップ宣言登録 検索

URL: <http://www.city.yokohama.lg.jp/kankyo/etc/jyorei/keikaku/midori-up/midori-up-plan/sengen/>



★携帯電話から  
登録の方



「横浜みどりアップ計画」の  
取組については、環境創造局の  
ホームページをご覧ください。

横浜みどりアップ計画 検索

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kankyo/etc/jyorei/keikaku/midori-up/midori-up-plan/>

# 横浜みどり税

緑の保全や緑化の施策を継続して実施していくためには、多くの費用が必要です。平成21年度から「横浜みどり税」を市民の皆さまにご負担いただき、安定的な財源として事業費の一部に活用して、不測の事態による樹林地の買取り希望への対応や市街地の緑化等を進めています。



## ★ 課税方式

- 個人…市民税の均等割に年間900円を上乗せ※1
  - 法人…市民税の年間均等割の9%相当額を上乗せ※2
- ※1 所得が一定金額以下で市民税均等割が課税されない方を除く。  
 ※2 法人税割が課税されない法人を除く。

## ★ 実施期間

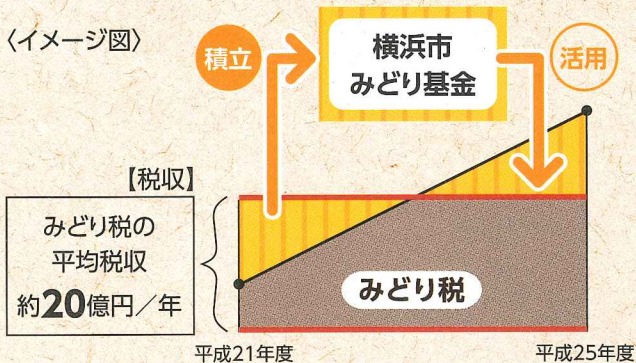
- 個人…平成21年度課税分から25年度課税分まで
- 法人…平成21年4月1日から26年3月31日の間に開始する事業年度分

## みどり税の税収と 横浜市みどり基金の関係

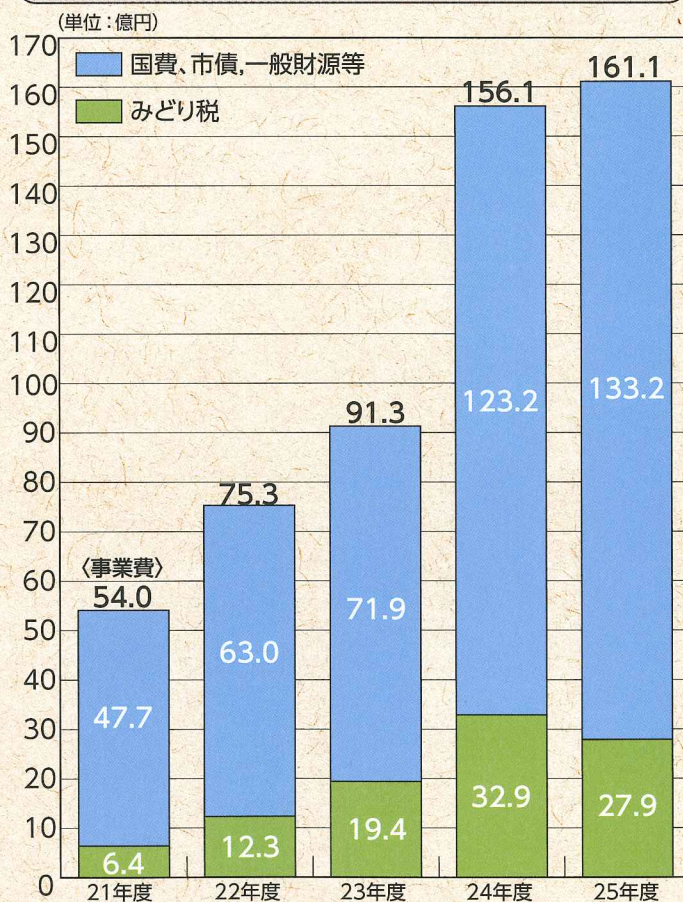
「みどり税」の使い方をわかりやすくするとともに、年度間の財源調整を図るため、「みどり税」の税収相当額を「横浜市みどり基金」に積み立て、管理しています。

税収に対して買取り等の事業費が少ない計画前半に基金を積み立て、事業費が税収を上回る計画後半に積み立てた基金を活用することで年度間の財源調整を図っています。

〈イメージ図〉



平成21～25年度の事業費(うちみどり税等)の推移



みどり税の使い方(平成21～24年度累計)

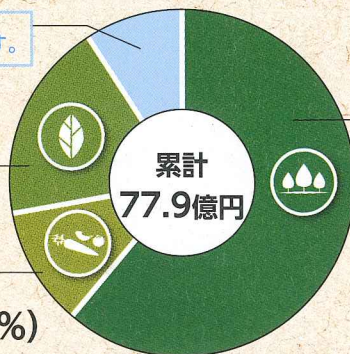
### 基金の積立

※平成25年度に活用します。

6.9億円(8%)

緑をつくる 14.7億円(19%)

農地を守る 8.3億円(11%)



樹林地を守る 48億円(62%)

※事業の詳細は中面をご覧ください

# 平成26年度以降の取組についても検討を進めています!

「横浜みどりアップ計画(新規・拡充施策)」は平成25年度までの計画ですが、緑の保全や創造には継続的に取り組むことが重要です。そこで本市では、これまでの取組の実績や課題、市民意識調査の結果等を踏まえ、**これからの緑の取組[平成26-30年度](素案)**をまとめました。この素案に対して4月に市民意見募集を行い、寄せられたご意見などをもとに、平成26年度以降の取組内容の検討を進めています。

**横浜みどりアップ計画**  
(新規・拡充施策)  
[平成21-25年度]

このリーフレットで  
実績を  
ご報告しています

**これからの緑の取組**  
[平成26-30年度]

現在、検討を  
進めています

## これからの緑の取組[平成26-30年度](素案)の概要

### 取組の理念

**みんなで育む みどり豊かな美しい街 横浜**

### 5か年の目標

- ▶ 緑の減少に歯止めをかけ、総量の維持を目指します
- ▶ 地域特性に応じた緑の保全・創出・維持管理の充実により緑の質を高めます
- ▶ 市民と緑との関わりを増やし、緑とともにある豊かな暮らしを実現します



取組の柱  
**1**

**市民とともに  
次世代につなぐ  
森を育む**

森(樹林地)の多様な役割に配慮しながら、緑のつながりの拠点となるまとまりのある森を重点的に保全するとともに、保全された森を市民や事業者の皆さまとともに育み、次世代に継承します。

#### 5か年の主な取組

- 樹林地500ha※を新たに保全  
※横浜公園約80個分!
- 生物多様性・安全性に配慮した森づくり
- 森に関わるイベント開催180回



取組の柱  
**2**

**市民が身近に  
農を感じる場を  
つくる**

景観や生物多様性の保全など農地が持つ環境面での役割に着目した取組、地産地消や農体験の場の創出など、市民の皆さまと農の関わりを深める取組を展開します。

#### 5か年の主な取組

- 水田を125ha保全
- 市民が楽しめる農園を25.8ha開設
- 市民や企業と連携した地産地消の展開



取組の柱  
**3**

**市民が  
実感できる  
緑をつくる**

街の魅力を高め賑わいづくりにつながる緑や地域の緑、街路樹などの緑の創出に、緑のネットワーク形成も念頭において取り組めます。また、地域で緑を創出・継承する市民や事業者の皆さまの取組を支援します。

#### 5か年の主な取組

- 民有地における緑化の助成65件
- 市民協働による緑のまちづくり49地区
- 都心臨海部での緑や花による賑わい創出



この3つの取組と合わせ、効果的な広報の展開に取り組めます。

★**これからの緑の取組[平成26-30年度](素案)**は、次の場所で閲覧できます

- ★各区役所広報相談係
- ★市民情報センター(市庁舎1階)
- ★環境創造局政策課
- ★環境創造局のウェブサイト <http://www.city.yokohama.lg.jp/kankyo/etc/jyorei/keikaku/midori/>

### 問合せ

- ◆「横浜みどりアップ計画」(新規・拡充施策)について ▶ 環境創造局みどりアップ推進課 TEL:045(671)2712 FAX:045(224)6627
- ◆「これからの緑の取組[平成26-30年度]」について ▶ 環境創造局政策課 TEL:045(671)4214 FAX:045(641)3490
- ◆「横浜みどり税」について ▶ 各区役所税務課又は財政局税務課 財政局税務課 TEL:045(671)2253 FAX:045(641)2775